

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ライオン		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2026年3月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの発達状況に合わせた活動：集団活動や個別活動、小グループに分けて活動や子どもの様子に合わせて活動しています。	子どもたちの様子や発達状況に合わせて、小グループに分けて活動したり、ルールのある遊びを取り入れていきました。子どもたちの声を聞き、興味・関心のある遊びを積極的に取り入れていけるように、子どもとのやりとりを大切にしていきました。	引き続き子どもたちが安心して楽しく参加できるように、活動の工夫を行っています。季節の行事やお出かけ、クッキング等も積極的に取り入れて活動を充実させていきたいと考えています。
2	職員研修、人材育成：法人研修、年代別研修や朝研修、講師を招いて部門別研修など多岐にわたっています。市内や道外の研修にも参加させてもらって勉強しています。	法人研修や朝研修、年代別研修や階層別研修等、内部の研修が充実しています。外部講師の先生にも来ていただき、講演していただいたり、外部研修にいった職員が報告会を行うなど、学びの機会がたくさんあります。センター研修等、外部の研修にも参加をしています。	外部の研修に、より積極的に参加し、専門性を高めていけるように検討していきます。
3	保護者支援：保護者の方と事業所内相談、グループカウンセリング、個別カウンセリングなどを行い、困り感に寄り添っています。	クラスでのお子さんの様子を伝えて、肯定的な関わりがもてるよう声を掛けたり、グループカウンセリングや親子発達支援等で、保護者同士が繋がれるように支援をしています。	グループカウンセリングに参加する保護者の方に偏りがあります。面談などを通して、気さくに保護者とお話ができるよう引き続き関係づくりをしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員同士の役割分担の明確化	グループを分けて活動する際の役割分担を事前に共有し、職員の動きを明確にしていく。	クラス会議等で、子どもたちの様子や家庭の状況を共有し、必要に応じて個別対応などを行っています。事前に、グループ分け等を職員間で共有した上で、臨機応変な対応ができるよう打ち合わせをしていきます。
2	保護者支援：グループカウンセリングの参加や事業所内相談に来ることが難しいご家庭へのアプローチ	お仕事や体調等で、園にくることが難しいご家庭とのお話の機会が少なくなってしまう。	メールや電話等での連絡を活用し、こまめにお子さんの様子を共有できるように働きかけていきます。面談の設定や家庭訪問を行い、顔をみてお話できる機会を作っていきます。
3			